
シリーズ～新約聖書入門～

2017/2/12

再臨

「再臨」とは

- ✖ イエス様が再びこの世に来られること
 - + 新約聖書には「再臨」という言葉はない
- ✖ 新約聖書では“到来(パルーシア)”
 - + 「あなたが来られて世の終わるときには、どんな徴があるのですか。」マタイ24:3
- ✖ イエス様の約束
 - + 「稲妻が東から西へひらめき渡るように、人の子も来るからである。」マタイ24:27
 - + 「あなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたをわたしのもとに迎える。」ヨハネ14:3

教会誕生時からの希望

✦ イエス様が昇天された時の御使いの約束

+ 「ガリラヤの人たち、なぜ天を見上げて立っているのか。あなたがたから離れて天に上げられたイエスは、天に行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになる。」使徒1:11

✦ ペトロの最初の説教

+ 「こうして、主のもとから慰めの時が訪れ、主はあなたがたのために前もって決めておられた、メシアであるイエスを遣わしてくださるのです。」使徒3:20

✦ では「いつ」「どのように」来られるのか？

テサロニケの信徒への手紙ー 4章13～18節

兄弟たち、既に眠りについた人たちについては、希望を持たないほかの人々のように嘆き悲しまないために、ぜひ次のことを知っておいてほしい。イエスが死んで復活されたと、わたしたちは信じています。神は同じように、イエスを信じて眠りについた人たちをも、イエスと一緒に導き出してくださいます。主の言葉に基づいて次のことを伝えます。主が来られる日まで生き残るわたしたちが、眠りについた人たちより先になることは、決してありません。

テサロニケの信徒への手紙ー 4章13～18節

すなわち、合図の号令がかかり、大天使の声が聞こえて、神のラッパが鳴り響くと、主御自身が天から降って来られます。すると、キリストに結ばれて死んだ人たちが、まず最初に復活し、それから、わたしたち生き残っている者が、空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられます。このようにして、わたしたちはいつまでも主と共にいることになります。ですから、今述べた言葉によって励まし合いなさい。

再臨時の出来事

- ✳ イエス様が天から降ってこられる
 - + 大天使の声,神のラッパが鳴り響く
- ✳ 既に亡くなったクリスチャンが復活する
 - + 「キリストに結ばれて死んだ人たちが、まず最初に復活し」
 - + 「兄弟たち、既に眠りについた人たちについては、希望を持たないほかの人々のように嘆き悲しまない…」4:13
 - ← **すぐにでも再臨があると思っていた!**
- ✳ 生きているクリスチャンも引き上げられ,空中で主と出会う<(空中)携挙>
 - + 「わたしたち生き残っている者が、空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられます」4:17

再臨に備える

✳ 突然(盗人のように)やってくる

- + 「盗人が夜やって来るように、主の日は来るということ、あなたが自身よく知っているからです。人々が『無事だ。安全だ』と言っているそのやさきに、突然、破滅が襲うのです。」5:2-3

✳ いつ来られても良いように警戒し、準備しておく

- + 「ほかの人々のように眠っていないで、目を覚まし、身を慎んでいましょう。眠る者は夜眠り、酒に酔う者は夜酔います。信仰と愛を胸当てとして着け、救いの希望を兜としてかぶり、身を慎んでいましょう」5:6-8

✳ 励まし合い、互いの成長に務める

- + 「ですから、あなたがたは、現にそうしているように、励まし合い、お互いの向上に心がけなさい。」5-11

2000年経ってしまいました!

「主のもとでは、一日は千年のようで、千年は一日のようです。ある人たちは、遅いと考えているようですが、主は約束の実現を遅らせておられるのではありません。そうではなく、一人も滅びないで皆が悔い改めるようにと、あなたがたのために忍耐しておられるのです。」ペトロ二3:8-9